

IR News

Institutional Research News

第6巻第1号(通算7号)
2025年 1月 20日発行
東京医療保健大学IR推進室
発行者: 室長 小西 敏郎

東京医療保健大学 IR 推進室ページができました

■近年の高等教育を取り巻く教育の質保証の変化

近年、文部科学省の中教審大学分科会質保証システム部会の新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実では、「大学設置基準」「大学設置認可審査」「認証評価」「情報公表」をわが国の公的な質保証システムとした上で、AP・CP・DPの3つのポリシーに基づく教育の実質化、グローバル化やデジタル技術、遠隔教育の普及・進展を踏まえて対応していく必要性が明示されました。また、教育・研究の質、学生の学びの質と水準を保証するために、3つのポリシーに基づく学位プログラムの編成、学位プログラムを基礎とした内部質保証の取り組み、内部質保証による教育研究活動の不断の見直しが求められることが明確化されました。

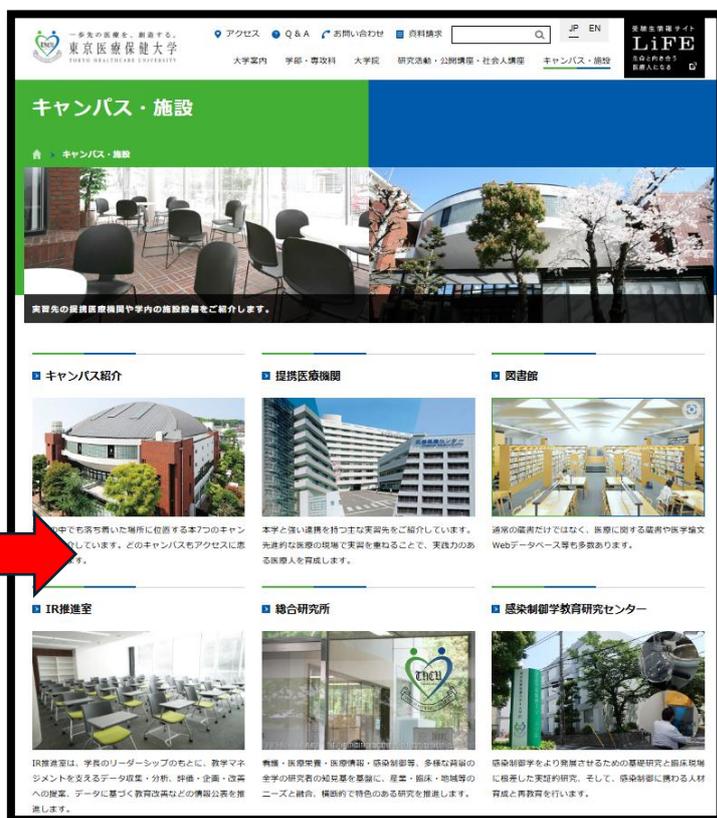
■本学の教育の質保証の動向

本学においては、2022年度に「東京医療保健大学 教学マネジメントチェックリスト」が策定され(2023年1月11日内部質保証推進会議決定、2023年7月12日一部改正)、「東京医療保健大学アセスメントプラン」、別表「アセスメントプランにおける各レベルの評価指標及び点検実施時期」「アセスメントプランに係る点検用フォーマット」に基づき、2023年度より本学の各階層(大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベル)ごとの点検・評価の実施がスタートしました。

■IR 推進室に期待される役割と今後の活動

IR 推進室は、データに基づく教学マネジメントが一步でも進むように、データを提供するとともに、データに基づく次年度の改善の方向性を指し示す役割が期待されています。大学全体レベル、学位プログラムレベル、授業科目レベルでの教育の改善に教学IR データが活用されるよう、各部署の求めに応じ、必要な情報提供を行っています。

特に、今後は、大学全体レベル・学位プログラムレベル・授業科目レベル、3つのポリシー(AP・CP・DP)、アセスメントテスト、学生・就職先企業対象のアンケート調査(7つの時点での定性的・定量的データ)などの観点から、「社会に対する説明責任」を果たす大学運営を行うために、恒常的・総合的な点検・評価に活用される教育改善データを提示すること、「IR 推進室ページ」を活用した情報公表できるよう努めてまいります。



東京医療保健大学 IR 推進室ページ <https://www.thcu.ac.jp/facilities/ir>

IR 推進室で現在活用している教育改善データ

■ 学生・就職先企業対象のアンケート調査



■ IR 年報 *R5 年度 IR 年報告での定性的・定量的データ

1. 学籍異動集計

2. コロナ前後の成績評価の比較

年度別成績評価分布・履修区分別成績評価分布・科目分野別成績分布・学科別成績評価分布

3. プレイメントテスト

入学時の学科別得点分布

4. 令和4年度の成績評価分析

成績評価の分布・科目分類別評価・科目分類の経年変化・科目選択区分・修得学年別評価分布

科目分類別粗点分布・職種区分別・修得単位別

5. ディプロマ・サプリメント集計結果

医療保健学部 看護学科・医療保健学部 医療栄養学科・医療保健学部 医療情報学科

東が丘看護学部看護学科・立川看護学部看護学科・千葉看護学部 看護学科・和歌山看護学部看護学科

6. WebClass 利用件数集計

1年間の利用状況・前年度と比較

医療保健学部 看護学科・医療保健学部 医療栄養学科・医療保健学部 医療情報学科

東が丘看護学部看護学科・立川看護学部看護学科・千葉看護学部 看護学科・和歌山看護学部看護学科

7. 教員一人あたりの学生数(ST 比率)

8. 新入生アンケート

9. 学生の学修に関する実態調査

過去調査との比較・学科別集計・学年別集計・大学生生活満足度との各設問とのクロス集計

10. 卒業時アンケート

経年比・他データとのクロス集計(fGPA、修得単位数等)・学科別集計・

医療保健学部 看護学科・医療保健学部 医療栄養学科・医療保健学部 医療情報学科

東が丘看護学部看護学科・立川看護学部看護学科・千葉看護学部 看護学科・和歌山看護学部看護学科

IR推進室では、教育改善のためのデータとして上記を集計・分析・評価を実施しています。また、データを活用した教育改善に関する支援、FD/SD活動を推進しています。

IR 推進室で今後のデータ分析予定

IR 推進室では、「2025 年度入学者に対する入学前教育及びプレイメントテスト」に対して、教学マネジメント指針等を踏まえてIR活動を推進することが求められているため、校務の一環として本件データを分析予定です。また、今後はデータを活用した各部局の教育改善の取り組みもご紹介する予定です。各部局でご紹介できる取り組みがございましたら、ぜひ IR 推進室にご共有いただけますと幸いです。

(文責:IR推進室長補佐 西村礼子)